

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【公表番号】特表2017-524740(P2017-524740A)

【公表日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2017-033

【出願番号】特願2017-525320(P2017-525320)

【国際特許分類】

C 07 K 1/22 (2006.01)

C 07 K 16/00 (2006.01)

C 07 K 16/46 (2006.01)

C 12 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 07 K 1/22

C 07 K 16/00

C 07 K 16/46

C 12 P 21/08

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年12月6日(2019.12.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

溶出緩衝液中で移動相修飾剤としてNaClを用いた場合に、増加した分離能が、ビーズサイズに反比例して示され、45 μ mを超える平均粒子を有するSpA樹脂に対して観察された分離能がなかった。興味深いことに、MABSELECT SURE(商標)(Rs = 0.92)は、bsAb Aを有するTOYOPEARL AF-rプロテインA-650F(Rs = 0.87)に匹敵する性能を示した。これは、(i)TOYOPEARL AF-rプロテインA-650Fに対してより小さい平均ビーズサイズ(45 cf. 85 μ m)、および(ii)Yドメイン(Cドメインに由来する)に基づき、したがってVH結合性を欠失していることが予測される(Starovasnik、上記)親和性リガンドの類似性のために、予測されなかった。bsAb Bに対して、POROS MABCAPTURE A(商標)は、より小さい粒子サイズを有しないにもかかわらず、TOYOPEARL AF-rプロテインA-650FおよびABSOLUTE HIC AP(商標)と比較して、優れた分離能を示した(それぞれ2.37および2.41と比較して、2.50)。これは、物質移動を補助する大きい通行できる孔、平均孔直径1100オングストロームにより促進される、このベースマトリックス中の散水の流れ(perfusiv flow)の要素のためであると推測される。POROS MABCAPTURE A(商標)はまた、行った任意の他のSpA樹脂よりもbsAb Aにおける良好な分離能を示し、TOYOPEARL AF-rプロテインA-650FおよびMABSELECT SURE(商標)の非VH結合性樹脂に匹敵する分離能を有した(それぞれ0.87および0.92と比較して、0.70)。